

行政視察報告

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和元年の実施を最後に都外への行政視察を見合わせていましたが、令和5年度より行政視察を再開しました。

総務委員会 令和5年11月6日から8日

●岡山県玉野市(競輪事業の収益増加の取り組みについて)
令和2年度より民間事業者への包括委託をしている玉野競輪場を視察し、包括業務委託や競輪場改修状況、今後に向けた取り組み等についてご説明いただきました。

●岡山県岡山市(岡山市市民協働推進事業について)
市の社会課題を官民協働の手法で進めるための制度である「岡山市市民協働推進事業」について視察し、事業概要や予算、実績等をご説明いただきました。

●大阪府泉大津市(妊産婦ホテル避難制度について)
洪水浸水想定区域にお住まいの妊産婦の方を対象とした「妊産婦ホテル避難制度」について視察し、制度設立の経緯や民間企業との連携等をご説明いただきました。



●委員コメント

玉野市では、民間事業者に包括委託し、インターネットの活用やスタジアム一体型ホテルなどに取り組み、地域と連携しながら新しい取り組みで収益増加と確保を行っていました。
岡山市では、課題解決が進む事業を抽出し、補助金の交付や、後に市の施策として取り組むなど、ボランティア団体や自治会等を支え、協働による社会課題の解決に行政が積極的に取り組んでいました。
泉大津市では、発災時に妊産婦と家族が安心して避難できるよう、協定を結ぶホテルの空き室を利用し、おむつやミルクなども備え、平時からお泊り会などに取り組むなど、職員のアイデアが進められていました。

厚生産業委員会 令和5年11月13日から15日

●佐賀県佐賀市(介護予防DXについて)
医療・介護・検診等のビッグデータを活用し、重症化リスクの高い高齢者の介護予防を推進している「介護予防DX」について視察し、導入・運用状況等をご説明いただきました。

●長崎県長崎市(まちぶらプロジェクトについて)
歴史的文化や伝統に培われた「まちなか」の賑わいの再生を図るために市民等と連携しながら進める取り組みである「まちぶらプロジェクト」について視察しました。

●長崎県長崎市(MaaSによる観光振興と公共交通の活用について)
事業者との包括連携協定により提供されたMaaSアプリ「STLOCAL(ストローカル)」の活用について視察しました。



●委員コメント

視察で実際に「現地」まで行くことの大きな意義の一つは、その自治体が全国に先駆けた施策を行うに至った環境や状況を肌で感じることです。今回伺った長崎市は全国有数の観光地であり、至る所に観光資源がある街です。そこがなぜ、あらためて観光客の回遊性を高めることを必要としているのかを学びに伺いました。来街者の滞在時間を増やし、買い物や食事などの機会の増加に繋げて地元の商業振興をはかることは、立川市の重要な課題です。今回の視察で街中の状況をつぶさに見て、コロナ禍を経た地元産業の危機感と官民一体の努力を感じ取ることができました。

環境建設委員会 令和5年11月9日から10日

●岐阜県大垣市(まちなかテラスについて)
「歩行者利便増進道路制度」に基づき、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」をエリア一体的に推進する取り組みである「まちなかテラス」について視察しました。特定の要件を満たす区域の歩道上でのテラス席の配置や物品販売の支援、駅周辺の広場等にキッチンカーが日常的に出店できる為の支援など、実際の取り組み内容についてご説明をいただきました。

●愛知県豊田市(とよたエコフルタウンについて)
平成31年4月にリニューアルオープンした、とよたエコフルタウンを視察しました。現在地球規模で起きている問題や豊田市が目指す50年後の将来都市像とその実現に向けた取り組みについて、見て・触れて・学ぶことができました。



●委員コメント

令和2年7月から始まった、大垣市「まちなかテラス」は、開始当初、「コロナの三密の回避で始めた」そうです。市職員が、店舗前の需要があることに気がつき、使われていない公共空間を活用することで、コロナで暗い中「ほんのちょっとだけでも明るくなれば」という職員の思いがきっかけのことでした。
「ひとつひとつは「小さな試みをする」ことが大切だった。すればするほど市民との関わり、コミュニケーションがどんどん生まれたんです」とも語っていました。立川でも活かしていこうと実行中です。

文教委員会 令和5年11月7日から8日

●静岡県焼津市(部活動の地域移行について)
中学校で行われている部活動とは別に、休日などに学校外の地域の方が中心となって行う新しい形のクラブ活動である「焼津市地域クラブ活動」について視察しました。令和4年度に5種目が開始され、令和5年度は新たに7種目の開始に向けて取り組むなど、事業の詳細についてご説明をいただきました。

●大阪府池田市(不登校対策について)
全国でも珍しい公設民営のフリースクールであるスマイルファクトリーを視察しました。教育相談やスクーリングによる学習支援、集団での生活訓練等、子どもを取り巻く様々な問題に関する活動についてご説明をいただきました。



●委員コメント

部活動の地域移行は国の方針により立川市も模索していますが、先進自治体の焼津市は休日を「地域クラブ活動」として段階的に地域移行を進めており、そのプロセスや学校・競技の枠組みについて調査しました。
不登校対策では池田市の公設民営フリースクール「スマイルファクトリー」を視察し、民営ならではの専門的視点と公教育と地域の連携、高卒資格まで網羅しながら個別に合わせた柔軟な学びと居場所の取り組みに大変関心しました。